



2023 OKAYAMA チャレンジカップレース Round 4

フォーミュラ Enjoy 岡山ラウンド(鈴鹿・岡山シリーズ第 4 戦・第 5 戦)

岡山国際サーキット(3.703km)

2023 シリーズもいよいよ中盤戦。舞台は 4 月の第 2 戦以来の岡山国際サーキット。第 4 戦・第 5 戦のダブルヘッダーとなり、9 台（エントリーは 10 台）による熱く、クリーンな戦いが展開された。

後援：鈴鹿市、一般社団法人鈴鹿市観光協会

※シャシーは NF-02、タイヤはダンロップのワンメイク

【公式予選】 6 月 24 日（土） 10:00～10:15 天候：晴れ 路面：ドライ

公式予選は、#34 東幸夫（シュボルト レプリスポーツ）が先手を打って 1 分 51 秒台から 50 秒台ヘタイムを刻みリードしたが、#70 山崎一平（自動車エンジニアリング・株式会社 IAT）、#8 樋尻勝利（ぼんちゃん 和歌山）がその差を縮め、終盤で逆転。山崎と樋尻が 49 秒台でワンツー。東、そして #75 前田公孝（PSD TK TAZAWA DENKI）が 50 秒台で 3・4 位を占めた。ベストタイムが第 4 戦、セカンドベストタイムが第 5 戦のグリッドに反映されるが、両レースとも同じグリッド順となった。

【第 4 戦 決勝レース】 6 月 24 日（土） 13:20～（10 周） 天候：曇り 路面：ドライ

3 番手グリッドから抜群のスタートダッシュを決めた東がトップで第 1 コーナーへ。中島、樋尻、山崎がこれに続く。2 周目には樋尻と中島の激しい 2 位攻防戦が展開され、中島がリード。逃げる東は 2.5 秒差をつけて 3 周目に入るが、後方からは山崎が中島、樋尻を抜いて 2 位に浮上。東との差を詰め、息詰まるトップ争いを 6 周目のヘアピンで制し、そのままトップチェッカー。第 3 戦鈴鹿につづくポール・トゥ・ウインを飾った。2 位には東、3 位に樋尻が入った、中島は 5 周目のアウトウッドでコースアウト、マシンのダメージにより第 5 戦はリタイアを余儀なくされた。「マイスターズ・カップ」は、8 位に入った #10 田中伸彦（Pierre Lapin HFW）が第 2 戦岡山ラウンド以来の戴冠を果たした。

【第 5 戦 決勝レース】 6 月 25 日（日） 10:20～（10 周） 天候：曇り 路面：ドライ

第 5 戦も東が好スタートを決めるが、山崎、樋尻があいついでこれをかわしオープニングラップを終える。その後東は樋尻をヘアピンでとらえ 2 位挽回。山崎－東－樋尻のオーダーでチェッカーまで周回を重ねた。いっぽう 4 位争いはし烈をきわめ、#55 伊勢屋貴史（御堂土地建物 FE2）、三浦和貴（セイコーレーシング@KRS）、中島一郎（bar ber 丈二 FE-II）、さらには #3 米岡正仁（Mas Racing）が加わり大接戦を演じたが、6 周目に中島が抜け出し 4 位を獲得。以下三浦、米岡、伊勢屋のオーダーとなった。表彰台は総合及び「マイスターズ・カップ」とも同じ顔ぶれとなった。



山崎（前）と東のトップ争い



表彰台は 2 戦とも同じ顔ぶれに



「マイスターズ・カップ」2 連覇の田中

■マイベスト賞 伊勢屋貴史（第 4 戦 4 位）、三浦和貴（同 5 位）、米岡正仁（同 6 位）

■福山英朗賞 中島一郎

※公式サイト「Season2023」で、「Data A la carte」「リザルト」「ランキング」「フォトギャラリー」もあわせてご覧ください